

# 聖霊降臨後第十四主日 関東地区一致祈祷日 (2025年9月14日)

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

## 開会の部

前 奏  
初めの歌 ♪301“罪あるものを”(1～5節)  
み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願 式文1ページ  
詩編交読 詩編51編

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ 式文2ページ  
グロリア 式文3ページ

## みことばの部

祝福の挨拶 式文4ページ

## 主日の祈り

慈しみと憐れみに溢れる神様、あなたは迷う者を連れ戻してくださいませ。あなたに背くすべてを退け、命をはぐくむすべてに従うことができるように、あなたの民を愛のうちに守ってください。  
救い主、主イエス・キリストによって祈ります。 アーメン

第1朗読日課 出エジプト記 32:7～14 (旧約 147 頁)  
第2朗読日課 テモテの手紙1 1:12～17 (新約 384 頁)  
ハレルヤ唱 式文 5 ページ  
福音書の朗読 ルカによる福音書 15:1～10 (新約 138 頁)  
みことばの歌 ♪293 “罪あるものをも”(1～3節)  
説 教 『一緒に喜んでください』 高野公雄師  
信仰の告白 ニケア信条 式文6ページ

**奉献の部** ※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。  
祝福の挨拶～奉献(献金)～奉献唱 式文7ページ  
奉献の祈り 式文 8 ページ

**聖餐の部**  
聖餐の歌 ♪260 “主イエス・キリストよ”(1～4節)  
聖餐の序詞～サンクトゥス～設定 式文9ページ  
主の祈り 式文10ページ  
平和の挨拶～アグヌス・デイ～聖餐への招きと陪餐の感謝 式文11ページ

**派遣の部**  
祝福の挨拶～ヌク・ディミティス 式文13ページ  
教会の祈り 石森正美  
祝 福 式文14ページ  
終わりの歌 ♪ 392 “主よ、わが心を”(1～5節)  
後 奏

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会  
責任教職 高野公雄牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9  
電話/Fax 042-972-5774

Mail: [nrkhanno1517@gmail.com](mailto:nrkhanno1517@gmail.com) HP: <https://kirakira2020.jp/>  
Facebook: [www.facebook.com/飯能ルーテル教会](http://www.facebook.com/飯能ルーテル教会)

詩編 51 編

かみ 神よ、わたしを<sup>あわ</sup>憐れんでください、<sup>おんいつく</sup>御慈しみをもって。

<sup>ふか</sup>深い<sup>おんあわ</sup>御憐れみをもって、<sup>そむ</sup>背きの<sup>つみ</sup>罪をぬぐってください。

わたしの<sup>とが</sup>咎をことごとく<sup>あら</sup>洗い、

<sup>つみ</sup>罪から<sup>きよ</sup>清めてください。

かみ 神よ、あなたに<sup>そむ</sup>背いたことをわたしは<sup>し</sup>知っています。

わたしの<sup>つみ</sup>罪は常にわたしの<sup>まえ</sup>前に<sup>お</sup>置かれています。

かみ 神よ、あなたに、あなたにのみわたしは<sup>つみ</sup>罪を<sup>おか</sup>犯し、<sup>おんめ</sup>御目に<sup>あくじ</sup>悪事と<sup>み</sup>見られることをしました。

<sup>い</sup>あなたの言われることは<sup>ただ</sup>正しく、あなたの<sup>さば</sup>裁きに<sup>あやま</sup>誤りはありません。

わたしは<sup>とが</sup>咎のうちに<sup>う</sup>産み<sup>お</sup>落とされ、

<sup>はは</sup>母がわたしを<sup>み</sup>身ごもったときも、わたしは<sup>つみ</sup>罪のうちに<sup>あ</sup>ったのです。

あなたは<sup>ひぎ</sup>秘義ではなく<sup>のぞ</sup>まことを<sup>のぞ</sup>望み

<sup>ひじゅつ</sup>秘術を<sup>はい</sup>排して<sup>ちえ</sup>知恵を<sup>さと</sup>悟らせてくださいます。

<sup>えだ</sup>ヒソプの枝でわたしの<sup>つみ</sup>罪を<sup>はら</sup>払ってください、わたしが<sup>きよ</sup>清くなるように。

<sup>あら</sup>わたしを<sup>ゆき</sup>洗ってください、<sup>しろ</sup>雪よりも<sup>しろ</sup>白くなるように。

<sup>よろこ</sup>喜び<sup>いわ</sup>祝う<sup>こえ</sup>声を<sup>き</sup>聞かせてください、あなたによって<sup>くだ</sup>砕かれたこの<sup>ほね</sup>骨が<sup>よろこ</sup>喜び<sup>おど</sup>躍るように。

わたしの<sup>つみ</sup>罪に<sup>かお</sup>み顔を<sup>む</sup>向けず、<sup>とが</sup>咎をことごとく<sup>ぬぐ</sup>ってください。

かみ 神よ、わたしの<sup>うち</sup>内に<sup>きよ</sup>清い<sup>こころ</sup>心を<sup>そうぞう</sup>創造し、

<sup>ゆ</sup>揺るがぬ<sup>れい</sup>霊をわたしの<sup>うち</sup>内に<sup>あた</sup>新しく<sup>あた</sup>してください。

詩編 51 編

かみ 神よ、わたしを<sup>あわ</sup>憐れんでください、<sup>おんいつく</sup>御慈しみをもって。

<sup>ふか</sup>深い<sup>おんあわ</sup>御憐れみをもって、<sup>そむ</sup>背きの<sup>つみ</sup>罪をぬぐってください。

わたしの<sup>とが</sup>咎をことごとく<sup>あら</sup>洗い、

<sup>つみ</sup>罪から<sup>きよ</sup>清めてください。

かみ 神よ、あなたに<sup>そむ</sup>背いたことをわたしは<sup>し</sup>知っています。

わたしの<sup>つみ</sup>罪は常にわたしの<sup>まえ</sup>前に<sup>お</sup>置かれています。

かみ 神よ、あなたに、あなたにのみわたしは<sup>つみ</sup>罪を<sup>おか</sup>犯し、<sup>おんめ</sup>御目に<sup>あくじ</sup>悪事と<sup>み</sup>見られることをしました。

<sup>い</sup>あなたの言われることは<sup>ただ</sup>正しく、あなたの<sup>さば</sup>裁きに<sup>あやま</sup>誤りはありません。

わたしは<sup>とが</sup>咎のうちに<sup>う</sup>産み<sup>お</sup>落とされ、

<sup>はは</sup>母がわたしを<sup>み</sup>身ごもったときも、わたしは<sup>つみ</sup>罪のうちに<sup>あ</sup>ったのです。

あなたは<sup>ひぎ</sup>秘義ではなく<sup>のぞ</sup>まことを<sup>のぞ</sup>望み

<sup>ひじゅつ</sup>秘術を<sup>はい</sup>排して<sup>ちえ</sup>知恵を<sup>さと</sup>悟らせてくださいます。

<sup>えだ</sup>ヒソプの枝でわたしの<sup>つみ</sup>罪を<sup>はら</sup>払ってください、わたしが<sup>きよ</sup>清くなるように。

<sup>あら</sup>わたしを<sup>ゆき</sup>洗ってください、<sup>しろ</sup>雪よりも<sup>しろ</sup>白くなるように。

<sup>よろこ</sup>喜び<sup>いわ</sup>祝う<sup>こえ</sup>声を<sup>き</sup>聞かせてください、あなたによって<sup>くだ</sup>砕かれたこの<sup>ほね</sup>骨が<sup>よろこ</sup>喜び<sup>おど</sup>躍るように。

わたしの<sup>つみ</sup>罪に<sup>かお</sup>み顔を<sup>む</sup>向けず、<sup>とが</sup>咎をことごとく<sup>ぬぐ</sup>ってください。

かみ 神よ、わたしの<sup>うち</sup>内に<sup>きよ</sup>清い<sup>こころ</sup>心を<sup>そうぞう</sup>創造し、

<sup>ゆ</sup>揺るがぬ<sup>れい</sup>霊をわたしの<sup>うち</sup>内に<sup>あた</sup>新しく<sup>あた</sup>してください。